



# 「ものが燃えるとき」

## 「山・海・島」体験活動に行く下級生に伝えよう!

ドラム缶に木をぎっしりつめて火をつけたらすぐ消えてしまった。どうしたら燃え続けるのかな?



下級生

### 下級生に教えてあげたいな!

ぼくたちも「山・海・島」体験活動で飯ごう炊さんしたら、ものを燃やし続ける方法は知ってるよ。木を少なくして隙間を作ると燃やし続けることができるよ!



6年生

なぜ隙間が必要なの?

どのくらいの隙間が必要なの?

うまく説明できないなあこまったな...

「下級生のために何とかしてあげたい」という上級生の責任感が、学習意欲の向上につながりました。さらに、分かっていたつもりでも、うまく説明できないというズレから、学習の必要性を感じることができました。

### 改めて調べなおしてみよう!

下級生のドラム缶の火が消えたのはなんでだろう?

酸素がなくなったから?

二酸化炭素が火を消したから?

自分が予想した火が消えた原因を基に調べたいことをまとめたよ!

じゃあ、この実験の結果はどうなる?

酸素がなくなったから?

二酸化炭素が火を消したから?

空気の出入り口が2つあるから燃え続けるはず!

空気の出入り口が1つあるから燃え続けるはず!

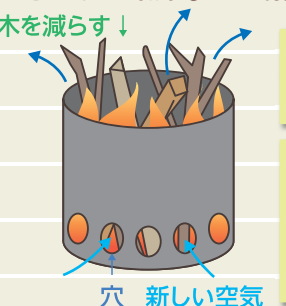
空気の出入り口があって空気はあるはずなのに火が消えたのはなぜ?

燃え続けた!

消えた!

児童の予想や疑問を基に、児童と一緒に学習計画を立てたことで、児童は見通しをもって学習を進められました。

### ものを燃やし続けるコツが分かったよ!



「酸素」「空気の通り道」などの言葉を使って分かりやすく説明を書くことができた!

ドラム缶の下に穴を開けて、常に上から「酸素が減って二酸化炭素が増えた空気」が出ていくようにすれば燃え続けることが分かったよ。



学んだことを、年末に牡蠣やカニを七輪で焼くときに生かしたい

来年度「山・海・島」体験活動へ行く4年生に、火を燃やし続けるコツを伝えました!



4年生

6年生

学習に入る前と比較すると、6年生の表現力や自信が向上し、下級生に対し、自信をもって説明する姿が見られました。

### 菅田 雅夫 県教育委員からのメッセージ

子供たちが自ら課題を発見し、その解決に向けて取り組む「課題発見・解決学習」が全ての学校で実践されるよう各市町教育委員会と協力し、取り組んでいます。参観日などで実際の授業を見ていただき、子供たちの生き生きとした学びを実感してください。



# 学びのセーフティネット構築事業

- 自ら学ぶ意欲や力を育む教育の実施
- 家庭の教育環境の改善
- 学力に課題のある児童生徒へのきめ細かい指導

などの教育施策により、貧困の世代連鎖を断ち切ります。

### 〈主な取組〉

**乳幼児** 折れない心やあきらめず粘り強く取り組む力等を育みます!



● 乳幼児教育支援センターを設置し、園・所等での教育・保育内容、家庭教育支援の充実に取り組みます。

**1 園・所等での教育・保育内容の充実**  
指定園・所におけるカリキュラムの研究開発の支援を行うとともに、国立・公立・私立・園・所等の枠組みを超えた研修体系の構築などを行います。

**2 家庭教育支援の充実**  
親子で一緒に遊び、学ぶ「学びが育つ あそびのひろば」～科学が教える子育ての知恵～を新たに展開し、県内3カ所でもデラ的に実施します。親子の会話を楽しくもコーナーや、体験活動プログラム(触れ合い体操、身近な自然体験)など、最新の学習科学に裏打ちされた、新しい学びの場を体験できます。



親子での体験活動プログラム



親子の会話を育むバナー展示

**小・中** 確かな学力を育み、希望する進路の実現につなげます!

● 小学校低学年からの学習のつまづきを把握するため、新たな学力調査等を検討します。



● 学力に課題のある児童生徒が基礎学力を身に付けられるよう、学校や地域を指定して教員を増員するなどし、指導方法の研究開発を行います。

**高等学校** 保護者の経済的負担を軽減し、教育の機会均等を図ります!  
● 経済的理由で修学や大学等への進学が困難な生徒に対し、資金の一部を貸付けたまたは給付します。

種類	支援内容	主な要件・対象等	お問い合わせ
高校生等奨学給付金(奨学のための給付金)	給付額(国公立学校の場合・年額) 【生活保護世帯】32,300円 【非課税世帯】全日制定時制 80,800円(1人目) 129,700円(2人目以降) 通信制 36,500円	保護者等全員の住民税(県・市町)所得割額が非課税	奨学給付金担当 ☎082(222)3015
広島県高等学校等奨学金(修学奨学金)	貸付月額 【国立】自宅通学 18,000円/自宅外通学 23,000円 【私立】自宅通学 30,000円/自宅外通学 35,000円	成績要件を厳格し、全ての学が意欲のある生徒を支援します! 保護者等の年間の全収入額が基準額以下(例:4人世帯年収 約665万円以下)	奨学金担当 ☎082(513)4996
新設 大学入学金等奨学金	給付額 60万円以内(受験料、入学金、初年度半期授業料実費相当額)	保護者等全員の住民税が非課税 募集人員100名	
その他、高等学校等に通う一定の収入額未満の世帯の生徒に対して、授業料等に充てるため、国から支給される支援金があります。			
高等学校等就学支援金	給付額 授業料・受講料相当額	7月から次のとおり要件が変わります! 保護者等全員の住民税(県・市町)所得割額の合計が50万7,000円未満の世帯	就学支援金担当 ☎082(222)3015

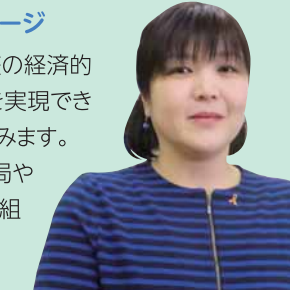
**小・中・高** 相談支援体制の構築を図ります!

● スクールソーシャルワーカーの配置を拡充するとともに、県教育委員会にスーパーバイザーを配置し、学校内の相談・支援機能や福祉部門との連携の強化を図ります。



### 志々田 まなみ 県教育委員からのメッセージ

広島に生まれ育った全ての子供たちが、家庭の経済的事情などに関わらず健やかに育ち、夢や希望を実現できるよう、学びのセーフティネットの構築に取り組んでいます。教育委員会や学校の取組に加えて、福祉部局や地域等とつながりながら、オール広島県で取り組んでいくことが重要です。



## 平成31年 4月開校! 県立広島叡智学園中学校・高等学校

生徒たちは大崎上島の豊かな自然に抱かれた全寮制の学び舎で、国際色豊かな教職員、地域の方々、そして世界中から集まった仲間たちとともに学び、笑い、泣き、成長していきます。この過程を通して「グローバルな視野」と「地域に根差した心」、「様々な人々と協働して、実社会の課題を発見・解決できる力」、言い換えれば「より善い未来を創造する力」が育まれます。

### 国際協働型プロジェクト学習を行う科目【未来創造科】

#### 専門家によるワークショップ

様々な分野の専門家を招き、「課題の見つけ方」「情報収集・整理分析の仕方」「議論の仕方」「アイデアの出し方」「表現・プレゼンテーションの仕方」など、プロジェクトの実行に必要な理論やモデルを学びます。

#### 議論・フィールドワーク

解決策の創造に向けて、仲間たちとの議論、現地でのフィールドワーク、関係者へのインタビューなどを行います。活動の多くは学年を横断し、実社会と同じく異なる年齢のチームで取り組みます。

#### 大人たちとの協働

生徒たちだけでできる活動は限られています。解決策の実行に向けて、関係する大人たちに自分たちのプロジェクトを説明し、連携や支援について交渉・調整します。

#### 解決策の実行

粗筋だけでも、実際にプロジェクトを実行することが重要です。縮図にまとめるのではなく「失敗し、振り返り、次のプロジェクトに活かす」というプロセスの中にこそ、最高の「学び」があります。

※写真は、平成27～29年にかけて、広島の高校生約90人と海外4カ国の高校生約50人が参加して実施された「広島創生イノベーションスクール」の様子です。

【学校公式ホームページ開設!】 広島叡智学園中学校・高等学校 [検索](#)

## 平成31年 4月開校! 県立三次中学校・高等学校

### 県立三次高等学校が、併設型中高一貫教育校に生まれ変わります!

三次中学校・高等学校は、県北地域における「学びの変革」のリーディングスクールとして、中・高6年間の一貫した教育活動を推進します。6年間の系統的なカリキュラムにより、各教科や総合的な学習の時間、課外活動等の内容を関連づけ、学習をより一層深める指導を行います。こうした取組の成果を近隣の中学校や高校にも広げること、県北地域全体の教育水準の向上につなげていきます。

#### 県立三次中学校説明会・見学会

日にち 平成30年5月19日(土)

場所 三次高等学校

内容

- 中学校の概要
- 入学者選抜の概要
- 高校生による学校紹介・施設案内

※その他日程等の詳細については、今後、三次高等学校のホームページでご案内します。

[三次高等学校](#) [検索](#)

### 徳 知 体 志 美

人間の多様性を尊重し、真理と正義を愛する徳性の高い人物

知性、探究心、創造性に溢れ、主体的に学ぶ人物

心身ともに健康にして、忍耐力のある、逞しい人物

伝統ある本校の生徒であることに誇りを持ち、美しい言葉・姿勢を備えた情豊かな人物

地球規模の視野で、他者と協働して人類の発展に貢献しようとする高い志をもつ、挑戦心溢れる人物

## 調和のとれた人格の形成

## 異文化間協働活動推進事業

県内全ての県立学校は、海外の学校と姉妹校提携を結んでおり、海外姉妹校への訪問や姉妹校生徒の受け入れなど、姉妹校交流の充実に取り組んでいます。

### 広島南特別支援学校 台湾の姉妹校との交流

広島南特別支援学校は、台北市立啓聰学校(台湾の聴覚障害者特別支援学校)と姉妹校提携をしており、平成26年度からは、高等部生徒が修学旅行で同校を訪問し、継続的に交流を深めています。平成29年度の修学旅行では、日本の生徒がコマやけん玉等、日本の伝統的な遊びや手話を披露し、台湾の生徒が自国の貨幣の紹介やダンスの発表をしました。さらに台湾の菓子作りや故宮博物院の見学などを通じて、台湾の文化に直に触れることができました。



啓聰学校の前で記念撮影